

Osaka Nation Project 2018-19「トップアスリート育成事業」

(大阪市トップアスリート育成補助事業)

テーマ「さらにオープン！」

◆目的「世界と戦える選手の更なる掘り起こしと指導者の意識改革」

2016-17「感じてみる事の1年目」

初の海外遠征ということで、派遣選手、コーチはわかりやすい形で、U22・U18 の大阪代表選手（国体）を中心として選考して初めの一步を実施。

2017-18「違いを腑に落とす為の2年目」

2年目は、1年目の課題をふまえ、海外遠征をより実践に活かすために、バスケットボール世界一のアメリカの在り方を同年代選手の存在で学び、日本の特徴と欠点を知るプログラムを実施。

試合前練習が試合へどう結びつくかなど遠征先のコーチや選手からのインタビューなども交え、間近に体感することができた。

2年間積み重ねることで見えたこと。

「日本で活躍している選手」≠「世界と戦える選手」

そこで、**2018-19** は、それをより明確に、テーマを「世界と戦える選手の更なる掘り起こしと指導者の意識改革」として**1年間つながりのある事業を実施する。**

◆内容

ステップ1：SUMMER（6月～8月）

目的：海外と戦える選手を知る事とオープントライアウト選考基準作り

- ①海外チームとの対戦をデータから見て戦略を立てる経験を持つコーチから学ぶ（6月～7月）
- ②世界のトップ選手が集うNBAやNCAAに多くの選手を育成し輩出したコーチから学ぶ（8月）

ステップ2：WINTER 12月前半

夏の研修会参加者から選考員希望者を募り、シアトルキャンプの為のオープントライアウトを実施

ステップ3：SPRING 2月後半

オープントライアウトで選ばれた選手とプロテクト選手で構成したチームでシアトルキャンプの実施

(付記)

今年度のオープントライアウト実施に関しては、初の試みという事もあり、研修会参加の指導者、トライアウトに参加する指導者や選手に対して多くは望めないと思います。

また、仮に選ばれてもキャンプに参加しない選手が出ることも予想されます。

しかし、トップアスリート育成事業の本来の目的、「世界との違いを埋める事」や「世界と戦える選手を育成する事」に向かい進むのが最も大切だと思います。

トライを続ける本事業では、今年度も更に大きな一步を踏み出したいと考えます。

オープンに、平等なステージを準備する事で大阪のバスケット界がより世界に近づけることを目指します。

今年度の事業をきっかけとして、世界を意識したバスケットボール環境を創造することになれば、当協会としても望ましいことだと考えます。